

1	教職概論	FZ-Z-101	必修 2単位 1 年前期
	Introduction of Teaching Profession		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	○ 教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けて担当する)	地域志向科目		
	○ 実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学部全学科 1 年全組 加藤 順一			
授業の達成目標			
1. 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解するとともに教職への意欲を高める。 2. 教員に求められる役割や資質能力を理解する。 3. 教員の職務内容や教員に課せられる義務を理解する。 4. チーム学校への対応の必要性について理解する。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムイクワイアメントとは、達成目標の 2 及び 3 とする。			
授業の概要			
教職課程の意義や教員としての資質・心構えを導入とし、教育の意義、教員の役割、教員としての生き方をなど考える。次いで、現在の学校・学校教育及び教職に関する基礎的な事項について解説し、その理解・定着を図る。また、自らの受けてきた教育を振り返り、教職への意識を明確にするためにレポート等を課し、意識の深化を図る。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校での教員経験や教育委員会での勤務経験のある教員が、「教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む）」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料を配付する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
試験（60％）、レポート等（40％）			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、前の時間の振り返りシートの記入内容や提出されたレポート等についてコメントし、フィードバックを行う。			
備考			

1	教職概論	FZ-Z-101	必修 2単位 1 年前期
	Introduction of Teaching Profession		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	教職の意義	シラバスで学習内容を確認し、教職の意義について考察する。	2
第2回	教員免許 教員採用試験	教職の意義に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第3回	教員に求められる資質と心構え	教員免許、教員採用試験に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第4回	教職観の変遷と教員の役割	教員に求められる資質と心構えに関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第5回	我が国の教育制度の概要	教職観の変遷と教員の役割に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第6回	学校組織と教員の仕事、チーム学校への対応	日本の教育制度の概要について調べる。	2
第7回	教科指導・学習指導	日本の教育制度の概要に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第8回	生徒指導と教育相談	学校の組織等に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第9回	進路指導とキャリア教育	教科指導・学習指導について調べる。	2
第10回	特別活動と課外活動	教科指導・学習指導に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第11回	特別支援教育	生徒指導と教育相談について調べる。	2
第12回	教員の勤務と服務義務	生徒指導と教育相談に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第13回	現在の教育課題と背景	進路指導とキャリア教育について調べる。	2
第14回	教員と研修 まとめ	特別活動等に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
		特別支援教育に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
		教員の勤務と服務義務について調べる。	2
		教員の服務に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
		現在の教育課題と背景について調べる。	2
		現在の教育課題について配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
		教員と研修について調べる。	2
		配付資料を確認するとともに、1年間の学習を振り返り、自己の成長と課題を確認する。	2

2	教育心理学	FZ-Z-102	必修 2単位 1 年前期
Educational Psychology			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	○ 教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けて担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学科 1 年全組 小川 和久			
授業の達成目標			
1. 発達と学習に関する概念及び基礎理論を理解し、教育実践の場で応用できる力を養う。2. 生涯発達の観点から、各段階での特徴、発達課題、発達過程に及ぼす要因、認知発達等の具体的内容について理解する。3. 主体的学習、学習意欲、学習評価のあり方について、発達を踏まえた学習を支える指導の基礎となる考え方を理解する。			
ミニマムリクワイアメント			
達成目標1～3に関して、基礎理論と学校教育現場への応用を具体的に考えることができる。			
授業の概要			
発達と学習の領域を中心に、子どもたちの教育を考える上で必要となる心理学の知見を解説する。また、教育現場への応用を念頭に置きながら、具体的な教育場面と関連づけて問題を提示していく。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料 教育心理学Ⅰ：発達と学習（渡部雅之・豊田弘司共著、サイエンス社）			
参考書等			
成績評価方法・基準			
小レポート課題（40%）、定期試験（60%）にもとづき総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
授業中あるいはLMS上でフィードバックする。			
備考			

2	教育心理学	FZ-Z-102	必修 2単位 1 年前期
Educational Psychology			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	教育心理学とは何か	シラバスを読んで授業概要を理解しておく。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第2回	発達とは（1）：生涯発達、発達段階	「生涯発達」「発達段階」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第3回	発達とは（2）：認知発達	ピアジェの「認知発達」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第4回	発達とは（3）：自己（他者）理解の発達、社会性の発達	「自己（他者）理解の発達」「社会性の発達」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第5回	発達とは（4）：遺伝と環境、発達障害	発達における「遺伝的・環境的要因」「発達障害」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第6回	児童期における心理的特性と発達課題	児童期における発達上の「心理的特性と発達課題」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第7回	青年期における心理的特性と発達課題	青年期における発達上の「心理的特性と発達課題」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第8回	学習の理論（1）：運合説	学習理論における「運合説」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第9回	学習の理論（2）：観察学習、モデリング	「観察学習」「モデリング」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第10回	学習の意欲（1）：動機づけ	「動機づけ」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第11回	学習の意欲（2）：自己効力感	「自己効力感」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第12回	学習の過程（1）：記憶のメカニズム	人間の「記憶のメカニズム」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第13回	学習の過程（2）：主体的学習、メタ認知能力	「主体的学習」「メタ認知能力」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2
第14回	学習の評価と測定、「生きる力」「資質・能力」を育む	学習の「評価」「測定」について調べる。 ノート・配付資料などを確認し、授業内容を振り返る。	2

3	教育制度論	FZ-Z-201	必修 2単位 1 年後期
	Educational Systems		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)		○ 教職科目 (工業)	
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)		○ 教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		○ 教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けて担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
工学部・建築学部 全学科 1 年全組 中島 夏子			
授業の達成目標			
1. 教育に関する社会的／制度的事項についての基礎知識を修得する。 2. 教育に関する社会的／制度的事項に関する事例を、基礎知識を基に客観的に理解する。 3. 教育に関する社会的／制度的事項の課題を見つけ、必要な対応について考える。			
ミニマムリクワイアメント			
達成目標の(1)(2)とする。			
授業の概要			
本講義は、教育に関する社会的／制度的事項とその課題について解説する。各授業では、教育制度に関する基礎的な知識や教育政策の動向について、関連資料の読解やグループワークを通して、理解を深める。その中には、現代の学校において必要不可欠な地域との連携及び学校安全への対応も含まれる。最後には、教育の動向に関するテーマを各自が設定し、それについてのレポートの作成と、授業内での発表を行う。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料、教育小六法を使用する。			
参考書等			
授業内で参考となる書籍を適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
各回的小レポート(40%)、中間試験(30%)、指導計画及びその発表内容(30%)			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
・各授業で課すレポートは、授業中にフィードバックを行う。 ・また、授業中やオフィスアワーにて指導を行う。 ・中間テストは、授業内で解説を行う。			
備考			

3	教育制度論	FZ-Z-201	必修 2単位 1 年後期
	Educational Systems		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	教育制度とは何か	教育制度について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第2回	公教育の原理及び理念	公教育の原理や理念について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第3回	教育法規（日本国憲法と教育基本法）	日本国憲法や教育基本法について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第4回	教育法規（学校教育法、その他の法制度）	学校教育法や教育に関わる法令について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第5回	教育制度を支える教育行政（公立学校）	公立学校に関わる教育行政制度について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第6回	教育制度を支える教育行政（私立学校）	私立学校に関わる教育行政制度について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第7回	まとめと中間テスト	これまでに学んだことを配布資料を中心に振り返る。 試験で不十分であった点を中心に振り返る。	2 2
第8回	学校と子どもをめぐる社会の状況とその課題	学校と子どもを巡る社会の状況と課題について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第9回	学校と子どもをめぐる課題への対応	学校と子どもをめぐる課題へ対応する教育制度について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第10回	諸外国の教育	諸外国の教育について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第11回	学校と地域との連携	学校と地域との連携について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第12回	学校安全への対応	学校安全について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第13回	教育政策・制度に関する課題報告会（準備）	自分が関心を持った教育制度における課題について調べる。 配付資料などを確認する。	2 2
第14回	教育政策・制度に関する課題報告会	自分が関心を持った教育制度における課題について報告書を作成する。 授業で受けたフィードバックを参考に報告書を修正する。	2 2

4	特別支援教育	FZ-Z-202	必修 1単位 1年後期
	Special Needs Education		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	 
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けで担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 1 年全組 野口 和人			
授業の達成目標			
1. 共生社会の実現に向けた基盤をなすという特別支援教育の大きな目標を理解する。 2. 特別な支援を必要とする生徒の特性及び心身の発達を理解し、そのための教育課程や支援の方法を理解する。 3. 特別な教育的ニーズのある生徒への対応を理解する。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムリクワイアメントは、達成目標の1及び2とする。			
授業の概要			
我が国におけるインクルーシブ教育システムと様々な教育的ニーズのある生徒を支援する方法について、できる限り具体的な事例に即して講述する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
テキスト：特に指定しない。必要な資料等は授業の際に配布する。			
参考書等			
特別支援学校 学習指導要領 小学部・中学部 文部科学省 2017 特別支援学校 学習指導要領 高等部 文部科学省 2019			
成績評価方法・基準			
授業における討論等への参加（30％）、試験（70％）			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、提出課題に対しての見解や、よくある誤り等についてコメントする。			
備考			

4	特別支援教育	FZ-Z-202	必修 1単位 1年後期
	Special Needs Education		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	特殊教育から特別支援教育へ：我が国におけるインクルーシブ教育システム	特別支援教育について調べる。	0.5
第2回	特別支援教育における教育課程：特別な教育課程の編成と自立活動	特別支援教育における教育課程について調べる。	0.5
第3回	特別支援教育を支える仕組み①：関係諸機関・家庭・地域等との連携と特別支援教育コーディネーターの役割	特別支援教育を支える仕組みについて調べる。	0.5
第4回	特別支援教育を支える仕組み②：個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成、合理的配慮	個別の計画や合理的配慮について調べる。	0.5
第5回	知的障害等のある生徒の理解と支援	知的障害について調べる。	0.5
第6回	発達障害のある生徒の理解と支援、ICTを活用した支援、将来の社会生活に向けた支援	発達障害及び支援の方法について調べる。	0.5
第7回	様々な事由に基づく教育的ニーズ及び支援ニーズへの対応、試験	これまでの配布資料を読み直して試験に備える。	0.5
第8回		試験で間違えた所を中心に復習する。	0.5
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			

5	教育課程論	FZ-Z-301	必修 2単位 2 年前期
Curriculum Theory			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けて担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	○ アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 中島 夏子			
授業の達成目標			
1. 学校教育において教育課程が有する意義を理解する。 2. 教育課程編成の原理および方法を理解する。 3. カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。			
ミニマムリクワイアメント			
達成目標の(1)(2)(3)とする。			
授業の概要			
本講義は教育課程とその編成方法について学ぶことを目的とする。各授業では、学習指導要領の位置づけやその内容、教育課程の編成の原理、カリキュラム・マネジメント等の教育課程の基礎的な知識を、関連資料の読解やグループワーク等を通して理解する。また、指導計画を立てることを通して、指導計画と教育課程の編成の仕方を習得する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料を使用する。			
参考書等			
その他、授業内で参考となる書籍を適宜紹介する。 高等学校 学習指導要領 文部科学省 2018 高等学校学習指導要領解説 総則編 文部科学省 2018			
成績評価方法・基準			
各回の小レポート(40%)、中間試験(30%)、指導計画及びその発表内容(30%)			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
・各授業で課すレポートは、授業中にフィードバックを行う。 ・中間試験は、後日、解説を行う。 ・指導計画は、添削を行う。			
備考			

5	教育課程論	FZ-Z-301	必修 2単位 2 年前期
Curriculum Theory			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	教育課程の原理	教育課程の原理について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 2 回	教育課程の編成と機能	教育課程の基本構造について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 3 回	学習指導要領の位置づけと役割	学習指導要領の位置づけや役割について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 4 回	学校における教育課程と指導計画	学校における教育課程と授業の指導案について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 5 回	教育課程の編成原理	教育課程編成の原理について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 6 回	学習指導要領の変遷	教育課程の歴史について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 7 回	現行学習指導要領の特質	学習指導要領の特質について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 8 回	カリキュラム・マネジメントの意義	カリキュラム・マネジメントについて調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 9 回	カリキュラム評価	教育評価とカリキュラム評価について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 10 回	中間まとめと試験	これまでに学んだ事を配付資料を中心に予習する。 これまでに学んだ事を配付資料を中心に復習する。	2
第 11 回	教育課程の編成の方法	教育課程の編成方法について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 12 回	指導計画を編成する (グループ活動)	指導計画を作成し、グループ活動に備える。 グループ活動で作成した指導計画の確認を行う。	2
第 13 回	指導計画を編成する (グループ報告会)	グループの報告の準備を行う。 報告を踏まえて教育課程の修正を行う。	2
第 14 回	指導計画を編成する (個人活動)	グループ活動で学んだ事を振り返り、教育課程を作成する。 配付資料などを確認する。	2

6	教育原理	FZ-Z-302	必修 2単位 2 年前期
Theory on Education			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)		○ 教職科目 (工業)	
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)		○ 教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		○ 教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けて担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 八 嶽 友 広			
授業の達成目標			
授業の達成目標は次の3点である。1. 人間が教育を必要とする理由、2. 教育の目的、3. その思想的・歴史的背景の包括的な理解。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムリクワイアメントは、上記達成目標の1, 2, 3とする。			
授業の概要			
この授業では、最初に、教育という人間的な営為の思想的背景と歴史的背景を概説する。次に、その背景のなかで練り上げられた教育にまつわる各概念を紹介する。最後に、授業内での討論およびコメントペーパーを活用することで、教育に関わる諸概念が、学校および家庭を中心とする、実際の教育現場でどのように活用されうかを考察する。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
参考書等			
高等学校学習指導要領 文部科学省 2018			
成績評価方法・基準			
最終回の課題作成の達成度（70%）、毎回のコメントペーパーの提出状況（15%）、討論への意欲的な参加（15%）の観点から、総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
毎回授業の内容に関するコメントペーパーを作成してもらう。コメントペーパーの内容を次の回で紹介することでフィードバックを行う。			
備考			

6	教育原理	FZ-Z-302	必修 2単位 2 年前期
Theory on Education			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第 1 回	授業の進め方と全体の紹介	シラバスを読んでおくこと。 配布資料と授業の全体像を確認すること。	2
第 2 回	なぜ人間には教育が必要なのか（アリエス『子どもの誕生』）	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 3 回	バイテディア（プラトン）、あるいは子どもの哲学	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 4 回	子どもの教育（モンテーニュ）	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 5 回	子どもの権利（ルソー）	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 6 回	教育と人間の理性（カント）	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 7 回	前半のまとめとグループワーク	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 8 回	子どもの行動と考え方①——発達心理学の観点から	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 9 回	子どもの行動と考え方②——児童精神分析の観点から	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 10 回	子どもの行動と考え方③——教育心理学の観点から	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 11 回	子どもと大人の関係①——現象学の観点から	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 12 回	子どもと大人の関係②——現象学的人間学の観点から	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 13 回	グループワークと課題作成の説明	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2
第 14 回	まとめと課題作成	シラバスおよび前回の配布資料を読んでおくこと。 配布資料を見返し、資料で紹介された文献を調べておくこと。	2

7	生徒・進路指導論	FZ-Z-303	必修 2単位 2 年前期
	Student Guidance and Career Guidance		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	○ 教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目		
	○ 実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学部全学科 2 年全組 加藤 順一			
授業の達成目標			
1. 生徒指導及び進路指導の意義や原理を理解する。 2. 生徒指導及び進路指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。 3. 個別課題を抱える生徒への生徒指導及び進路指導のあり方を理解する。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムリクワイアメントは達成目標の 1 及び 2 とする。			
授業の概要			
学校における生徒指導及び進路指導の意義や課題を教員の視点から正しくとらえるためには事例に即した見方が必要になる。授業では具体的な課題を取り上げ、グループワークを行い、グループごとにプレゼンテーションをする機会を設ける。また、自分の過ごしてきた学校生活を踏まえて、青年期にある自らの内面を過去から現在にわたって振り返りながら学ぶ。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校での教員経験および教育委員会での勤務経験のある教員が、「生徒指導の理論及び方法」と「進路指導及びキャリア教育の理論の及び方法」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料を配付する。			
参考書等			
生徒指導提要 (令和 4 年12月 文部科学省) 生徒指導リーフ (国立教育政策研究所) これらはそれぞれのホームページから見るすることができます。			
成績評価方法・基準			
試験 (5 0 %)、提出物・グループワーク発表内容等 (5 0 %)			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、前の時間の振り返りシート、提出物等についてコメントし、フィードバックを行う。			
備考			

7 生徒・進路指導論		FZ-Z-303	必修 2単位 2 年前期
Student Guidance and Career Guidance			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第1回	生徒指導の意義と原理	シラバスで学習内容を確認し、生徒指導の意義と原理について調べる。 生徒指導の意義と原理に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第2回	生徒理解と指導方法	生徒理解と指導方法について調べる。 生徒理解と指導方法に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第3回	生徒指導の進め方 (青年期の特性を踏まえて)	生徒指導の進め方について調べる。 生徒指導の進め方に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第4回	生徒指導上の課題とその対応：不登校 (グループワーク)	不登校に関する配付資料を確認し、グループワークを振り返るとともに、質問や意見、感想等をまとめる。	2
第5回	生徒指導上の課題とその対応：いじめ問題 (グループワーク)	いじめ問題に関する配付資料を確認し、グループワークを振り返るとともに、質問や意見、感想等をまとめる。	2
第6回	生徒指導上の課題とその対応：体罰と懲戒 (グループワーク)	体罰と懲戒に関する配付資料を確認し、グループワークを振り返るとともに、質問や意見、感想等をまとめる。	2
第7回	生徒指導上の課題とその対応：ネット関連の問題、少年非行 (グループワーク)	ネット関連の問題および少年非行について調べる。 ネット関連の問題や少年非行に関する配付資料を確認し、グループワークを振り返るとともに、質問や意見、感想等をまとめる。	2
第8回	生徒指導上の課題とその対応：児童虐待 (グループワーク)	児童虐待に関する配付資料を確認し、グループワークを振り返るとともに、質問や意見、感想等をまとめる。	2
第9回	教育相談と生徒指導・教育相談の体制	教育相談と生徒指導・教育相談の体制について調べる。 教育相談に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第10回	進路指導・キャリア教育の意義と理論	進路指導・キャリア教育の意義と理論について調べる。 進路指導・キャリア教育に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第11回	ガイダンスとしての進路指導	ガイダンスとしての進路指導について調べる。 ガイダンスとしての進路指導に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第12回	カウンセリングとしての進路指導	カウンセリングとしての進路指導について調べる。 カウンセリングとしての進路指導に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第13回	進学指導と就職指導の状況	進学指導と就職指導の状況について調べる。 進路指導の状況に関する配付資料を確認するとともに受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第14回	進路指導・キャリア教育の指導体制 まとめ	進路指導・キャリア教育の指導体制について調べる。 進路指導・キャリア教育の指導体制に関する配付資料を確認するとともに、1年間の学習を振り返り、自己の成長と課題を確認する。	2

8	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	FZ-Z-401	必修 2単位 2 年後期
	Methods of Extra-Curricular Activities and Periods of Integrated Studies		
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	○ 教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目		
	○ 実務経験のある教員担当		
	○ アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学部全学科 2 年全組 加藤 順一			
授業の達成目標			
1. 特別活動の意義を理解し、その特質を踏まえた指導の在り方を理解する。 2. 総合的な探究の時間の意義と原理を理解する。 3. 総合的な探究の時間の指導計画の作成、指導及び評価の仕方を理解する。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムリクワイアメントは達成目標の 1 及び 2 とする。			
授業の概要			
特別活動の意義と目標・内容及び課題について解説するとともに、学生が自己の経験を振り返りながら考察する機会を確保する。また、総合的な探究の時間の意義や指導計画の作成、具体的な指導の仕方、評価等について解説する。いずれもグループワーク等の集団活動の場を設定し、実践的に学ぶことができるようにする。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校での教員経験および教育委員会での勤務経験のある教員が、「特別活動の指導法」と「総合的な探究の時間の指導法」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料を配付する。			
参考書等			
高等学校学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省 東京書籍 2019 高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編 文部科学省 学校図書 2019 今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開 (高等学校編) 文部科学省 アイフィス 2023			
成績評価方法・基準			
試験 (4 0 %)、レポート等 (3 0 %)、グループワーク・発表内容 (3 0 %)			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、小レポート等についてコメントし、フィードバックを行う。			
備考			

8	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	FZ-Z-401	必修 2単位 2 年後期
Methods of Extra-Curricular Activities and Periods of Integrated Studies			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第 1 回	授業のねらいと進め方	シラバスで学習内容を確認し、特別活動及び総合的な探究の時間について調べる。 配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 2 回	特別活動の意義と目標	特別活動の意義と目標について調べる。 配付資料を確認するとともに、特別活動の意義と目標についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 3 回	特別活動の内容①（ホームルーム活動）	ホームルーム活動について調べる。 ホームルーム活動に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 4 回	特別活動の内容②（生徒会活動、学校行事）	生徒会活動及び学校行事に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 5 回	特別活動の評価 教師に求められる姿勢	特別活動の評価について調べる。 特別活動の評価と特別活動の指導に当たって求められる教師の姿勢に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 6 回	特別活動の指導法①（グループワーク）	特別活動の指導の実際を各グループで考える。 グループワークの取り組みを振り返り、感想等をまとめる。	2
第 7 回	特別活動の指導法②（グループワーク）	ホームルーム活動の指導法について各グループで考える。 グループワークの取り組みを振り返り、意見、感想等をまとめる。	2
第 8 回	特別活動の指導法③（グループごとの発表と相互評価）	ホームルーム活動の指導についてグループ発表の準備をする。 グループワークの取り組みを振り返り、計画の必要な修正を行う。	2
第 9 回	総合的な探究の時間の意義と原理	総合的な探究の時間の意義と原理について調べる。 総合的な探究の時間に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 10 回	総合的な探究の時間の指導計画	総合的な探究の時間の指導計画について調べる。 総合的な探究の時間の指導計画に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 11 回	総合的な探究の時間の指導と評価	総合的な探究の時間の指導と評価について調べる。 総合的な探究の時間の指導と評価に関する配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 12 回	総合的な探究の時間の指導計画作成（グループワーク）	総合的な探究の時間の指導計画について各グループで調べる。 総合的な探究の時間の指導に関するグループワークの取り組みを振り返り、意見、感想等をまとめる。	2
第 13 回	グループ発表と相互評価	グループ発表の準備をする。 各グループの発表を振り返り、意見、感想等をまとめる。	2
第 14 回	総合的な探究の時間の指導計画の修正（グループワーク）まとめ	グループ発表の評価や修正点を検討する。 1年間の学習を振り返り、それぞれの成長と課題を確認する。	2

9	教育相談	FZ-Z-402	必修 2単位 2 年後期
School Counseling			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	○ 教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 久保 順也			
授業の達成目標			
1. 学校教育における教育相談の概要について理解する。 2. 児童生徒の問題行動や不適応行動の概要とそれらの行動に気づくための視点を習得する。 3. 教育相談の具体的な進め方を学び、校内外の関係者との連携のあり方を理解する。			
ミニマムリクワイアメント			
学校教育における教育相談の概要について理解する。			
授業の概要			
教育相談に必要な態度・姿勢・技法を習得するため、カウンセリングに関する理論、基礎知識、具体的な対応方法を、不適応の事例を紹介しながら概観していく。スクールカウンセラー等の専門家の職務の実際や、関係者との連携のあり方など、学校現場の実際場面を想定した内容を提示していく。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料や補助資料をWebClassで配布。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
毎回授業終了後に提出するミニレポート (50%)、試験 (50%)			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
課題やレポートに対するフィードバックを行う。			
備考			

9	教育相談	FZ-Z-402	必修 2単位 2 年後期
School Counseling			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	教育相談とは	教育相談について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 2 回	教育相談の技術と進め方	教育相談の技術と進め方について調べて予習する。 配付資料などを確認する。	2
第 3 回	カウンセリングの基礎：行動療法	教育相談の技術と進め方について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 4 回	カウンセリングの基礎：クライアント中心療法	クライアント中心療法について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 5 回	カウンセリングの基礎：フリーゼラビー	フリーゼラビーについて調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 6 回	カウンセリングの基礎：家族療法的アプローチ	家族療法について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 7 回	不適応行動とその対応：ストレス、うつ	ストレス、うつについて調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 8 回	不適応行動とその対応：不登校、ひきこもり	不登校、ひきこもりについて調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 9 回	不適応行動とその対応：いじめ、非行	いじめ、非行について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 10 回	不適応行動とその対応：発達障害	発達障害について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 11 回	教育相談の実際：校内外の体制	教育相談における校内外の専門家・専門機関について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 12 回	教育相談の実際：担任教師	教育相談における担任教師の役割について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 13 回	教育相談の実際：保護者	教育相談における保護者との連携について調べる。 配付資料などを確認する。	2
第 14 回	教育相談の実際：スクールカウンセラー	スクールカウンセリングについて調べる。 配付資料などを確認する。	2

10	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	FZ-Z-403	必修 2単位 2年後期
Method of Education			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1人が全回担当)	○ 教職科目（工業）		
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)	○ 教職科目（情報）		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	○ 教職科目（商業）		
クラス分け(クラス分けて担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	○ アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学科 2 年全組 山下 祐一郎			
授業の達成目標			
1. 教育の目的に適した指導技術、及び、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解し、身に付ける。 2. 学校における情報通信技術の活用の意義と理論、及び、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。 3. 生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための基礎的な指導法を身に付ける。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムリクワイアメントは、達成目標の（1）とする。このことは、理論の基礎知識に加えて、情報通信技術を効果的に活用した学習指導のひとつとして「動画を作成し、Googleドライブを使用して閲覧させることができる」を含む。			
授業の概要			
教育方法の原理と理論、指導技術について考察する。そして、様々な授業や教育実践の例に触れ、これからの子どもに求められる資質・能力を育成するための教育方法を理解し、適切な指導技術を身に付けられるように体験的な活動を行う。なお、これらの教育方法や指導技術などには、情報通信技術の効果的な活用と情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成を含んでいる。			
実務経験を活かした教育について			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
参考書等			
高等学校学習指導要領 文部科学省 2018 教職課程コアカリキュラム対応 情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術 堀田龍也 他 三省堂 2019			
成績評価方法・基準			
毎回の授業内確認テスト等（50％）、課題（50％）			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
各授業回に確認テストを実施する。また、課題はパワーポイントを用いたビデオの作成を予定している。 これらのフィードバックは個別に実施する。			
備考			

10	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	FZ-Z-403	必修 2単位 2年後期
Method of Education			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	学校教育の目的、教育方法で育成するべき資質・能力と学力観を理解する。	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第2回	欧米の教育方法を中心に段階教授法までの基礎的理論と実践を理解する。	ノートを整理する。	2
第3回	欧米の教育方法を中心に主体的対話的で深い学びや教育プランに関わる基礎的理論と実践を理解する。	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第4回	日本の教育方法を中心に主体的対話的で深い学びに関わる基礎的理論と実践を理解する。	ノートを整理する。	2
第5回	カリキュラムマネジメントについて理解をする。資質・能力を育成する教育方法（主体的対話的で深い学びの実	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第6回	学級、学習者（児童・生徒など）、教師、教室、教材などの授業を構成する要素。話法・板書など、授業を行う	ノートを整理する。	2
第7回	学習評価の基礎的な考え方を理解する。	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第8回	学校における ICT 環境、生徒に情報通信機器の基本的な知識・操作を身に付けさせるための指導法を理解する。個別最適な学びと協働的な学びの実現など、情報通信技術の活用の意義と在り方	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第9回	情報通信技術を活用した指導事例（デジタル教材の作成・利用を含む）を理解する。	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第10回	遠隔・オンライン教育の意義や関連するシステムの使用法を理解する。	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第11回	情報活用能力（情報モラルを含む。）について、各教科等の特性に応じた指導事例を理解する。	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第12回	各教科、道徳、総合的な学習時間などで横断的に育成する情報活用能力（情報モラルを含む。）について理解する	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第13回	スタディ・ログなど教育データの活用や教育情報セキュリティ、統合型校務支援システムなどについて理解する	資料等の当該箇所に目を通す。	2
第14回	特別の支援を必要とする学習者に対するICT 活用、ICT 支援員などとの連携、学校における ICT 環境などを理解する	資料等の当該箇所に目を通す。	2

11	工業科教育法 A	EACSZ-Z-501	必修 Ⅲ「工業」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年前期
Teaching Method A			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独 (1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数 (1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)		
オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)		
クラス分け (クラス分けて担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学科 3 年全組 萩野 元彦			
授業の達成目標			
1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適応できるようにする。 3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。			
ミナミルクワイアメント			
達成目標の (1) ~ (3) とする。			
授業の概要			
高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。工業分野に従事する技術者を育成する指導者としての使命感を自覚させ、学習指導要領に基づき、工業教育の役割・概要、教育機器及び情報通信技術の活用等を授業の中心にして、実践的態度の育成を目指す講義内容とする。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、「教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 工業編 文部科学省 実教出版 2018			
参考書等			
成績評価方法・基準			
定期試験 (40%)、授業中に実施するテスト (レポート含む) と課題 (60%)。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

11	工業科教育法 A	EACSZ-Z-501	必修 Ⅲ「工業」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年前期
Teaching Method A			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	授業の進め方、工業教育の役割	(予習) シラバスで学習内容を確認し、工業教育の役割について考察する。	2
第 2 回	工業教育の教育課程	(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 3 回	学習指導要領 1: 改訂の経緯、趣旨	(予習) 工業教育の教育課程について調べる。	2
第 4 回	学習指導要領 2: 目標	(復習) 工業教育の教育課程について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 5 回	学習指導要領 3: 共通科目「工業技術基礎」の概要	(予習) 学習指導要領の改訂の経緯、趣旨について調べる。	2
第 6 回	学習指導要領 4: 共通科目「工業技術基礎」の指導上の留意点	(復習) 学習指導要領の改訂の経緯、趣旨について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 7 回	工業の背景となる領域と科目構成	(予習) 学習指導要領の目標について調べる。	2
第 8 回	情報通信技術の効果的な活用法	(復習) 学習指導要領の目標について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 9 回	担当科目選定	(予習) 共通科目「工業技術基礎」の概要について調べる。	2
第 10 回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション製作	(復習) 共通科目「工業技術基礎」の指導上の留意点について調べる。	2
第 11 回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション (グループ 1: 発表、グループ 2: 参観)	(予習) 共通科目「工業技術基礎」の指導上の留意点について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 12 回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション (グループ 1: 参観、グループ 2: 発表)	(予習) 工業の背景となる領域と科目構成について調べる。	2
第 13 回	担当科目の目標・内容のプレゼンテーション相互評価と修正	(復習) 工業の背景となる領域と科目構成について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 14 回	各科目の発展的な学習内容工業科教育法 A のまとめ	(予習) 情報通信技術の効果的な活用法について調べる。	2

12	工業科教育法 B	EACSZ-Z-601	必修 Ⅲ「工業」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年後期
Teaching Method B			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)	○ 教職科目 (工業)		
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けて担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
全学科 3 年全組 萩野 元彦			
授業の達成目標			
1. 工業教育に係る教育方法の知識や指導法を理解する。2. 実際の教育の場において知識や指導法を適切に適応できるようにする。 3. 学習指導案作成と付随する知識・指導技術が修得できるようにする。			
ミニマムリクワイアメント			
達成目標の(1)～(3)とする。			
授業の概要			
高等学校における職業教育は多様であり、工業分野も産業構造の変化に伴い多様化している。講義では、工業分野に従事する工業人を育成するに相応しい教員の育成を目指し、授業法や評価について講義する。更には学習指導案の作成と模擬授業を通して教員としての実践的態度を育成するとともに、工業教育の動向についてふれ、課題を確認するとともに、工業教育の未来を展望する講義内容とする。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、「教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 工業編 文部科学省 実教出版 2018			
参考書等			
成績評価方法・基準			
定期試験(40%)、授業中に実施するテスト(レポート含む)と課題(60%)。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、全体に対してフィードバックを行う。			
備考			

12	工業科教育法 B	EACSZ-Z-601	必修 Ⅲ「工業」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年後期
Teaching Method B			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	工業科教育法 A の確認、工業科教育法 B の授業の進め方	(予習) シラバスで学習内容を確認する。また、工業科教育法 A についてもあらためて確認しておく。 (復習) 配布資料を確認する。	2
第 2 回	工業教育の指導計画	(予習) 工業教育の指導計画について調べる。 (復習) 工業教育の指導計画について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 3 回	工業教育の科目構成と教科指導	(予習) 工業教育の科目構成と教科指導について調べる。 (復習) 工業教育の科目構成と教科指導について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 4 回	工業教育の教材研究：生徒の状況、教材の位置づけ	(予習) 工業教育の教材研究について調べる。 (復習) 工業教育の教材研究について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 5 回	工業教育の授業研究：教材の活用法、指導上の留意点	(予習) 工業教育の授業研究について調べる。 (復習) 工業教育の授業研究について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 6 回	工業教育の授業の評価	(予習) 工業教育の授業の評価について調べる。 (復習) 工業教育の授業の評価について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 7 回	学習指導案	(予習) 学習指導案について調べる。 (復習) 学習指導案について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 8 回	担当科目の学習指導案作成	(予習) 各自の担当科目の担当箇所について調べて、学習指導案作成の準備をする。 (復習) 学習指導案作成の準備について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 9 回	担当科目の学習指導案修正、完成	(予習) 各自の担当科目の担当箇所について調べて、学習指導案完成に向けて準備する。 (復習) 学習指導案について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 10 回	担当科目の学習指導案による模擬授業(グループ 1：発表、グループ 2：参観)	(予習) 担当箇所を予習し、模擬授業の準備をする。 (復習) 模擬授業について確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 11 回	担当科目の学習指導案による模擬授業(グループ 1：参観、グループ 2：発表)	(予習) 担当箇所を予習し、模擬授業の準備をする。 (復習) 模擬授業について確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 12 回	担当科目の学習指導案による模擬授業の振り返り・相互評価	(予習) 模擬授業に対する評価や自身の修正点等について検討する。 (復習) 模擬授業に対する評価や自身の修正点等について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 13 回	工業教育の実践例に学ぶ	(予習) 工業教育の実践例について調べる。 (復習) 工業教育の実践例について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 14 回	工業教育の課題と展望 工業科教育法 B のまとめ	(予習) 工業教育の課題と展望について調べる。 (復習) 工業教育の課題と展望について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2

13	情報科教育法 A	ETZ-Z-502	必修 ※「情報」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年前期
Education of Information and Communication Technology A			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
E・T 3 年全組 萩野 元彦			
授業の達成目標			
1. 高等学校学習指導要領「情報」の目標と内容を理解する。2. 共通教科情報科の「情報 I」の知識や指導法を理解する。3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。			
ミナミクワイメント			
達成目標の(1)～(3)とする。			
授業の概要			
教科「情報」の教育目標、内容、指導方法について理解し、情報科教員として必要な教材作成、授業設計・実施・評価の理論と実践を、自ら課題解決しながら行う。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、「教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 情報編 文部科学省 実教出版 2018			
参考書等			
成績評価方法・基準			
毎時間の課題(40%)、調べ学習ノートおよびコンピュータ実習・模擬授業(20%)、試験(40%)。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

13	情報科教育法 A	ETZ-Z-502	必修 ※「情報」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年前期
Education of Information and Communication Technology A			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	授業ガイダンス (情報科教育法の学習内容と位置づけ)	(予習) シラバスで学習内容を確認してくる。	2
第 2 回	教科「情報」設立時点の理念、背景となる領域	(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 3 回	情報モラルと望ましい情報社会の構築	(予習) 教科「情報」設立時点の理念及び背景となる領域について調べる。	2
第 4 回	学習指導要領 1: 普通教科「情報」における情報教育と改訂の経緯	(復習) 教科「情報」設立時点の理念及び背景となる領域について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 5 回	学習指導要領 2: 普通教科「情報」の改訂の趣旨と要点	(予習) 情報モラルと望ましい情報社会の構築について調べる。	2
第 6 回	学習指導要領 3: 共通教科情報科の目標と科目編成	(復習) 情報モラルと望ましい情報社会の構築について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 7 回	学習指導要領 4: 共通教科情報科における「情報 I」の目標と内容	(予習) 普通教科「情報」における情報教育と改訂の経緯について調べる。	2
第 8 回	「情報 I」の学習評価、担当項目選定	(復習) 普通教科「情報」における情報教育と改訂の経緯について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 9 回	「情報 I」の分担項目の教材研究 (生徒の状況、教材の位置づけ)	(予習) 普通教科「情報」の改訂の趣旨と要点について調べる。	2
第 10 回	「情報 I」の分担項目の授業研究 (教材の活用法、指導上の留意点)	(復習) 共通教科情報科の目標と科目編成について調べる。	2
第 11 回	「情報 I」の分担項目の学習指導案作成	(予習) 共通教科情報科の目標と科目編成について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 12 回	「情報 I」の分担項目の学習指導案に基づく模擬授業	(予習) 共通教科情報科における「情報 I」の目標と内容について調べる。	2
第 13 回	「情報 I」の模擬授業の振り返り (相互評価と学習指導案修正)	(復習) 共通教科情報科における「情報 I」の目標と内容について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 14 回	「情報 I」の発展的な学習内容情報科教育法 A のまとめ	(予習) 「情報 I」の学習評価について調べ、あわせて担当項目選定の準備をしていく。	2

14	情報科教育法 B	ETZ-Z-602	必修 ※「情報」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年後期
Education of Information and Communication Technology B			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独(1 人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	○ 教職科目 (情報)		
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	教職科目 (商業)		
クラス分け(クラス分けで担当する)	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
	メディア授業		
クラス・担当教員			
E・T 3 年全組 萩野 元彦			
授業の達成目標			
1. 共通教科情報科の「情報Ⅱ」の知識や指導法を理解する。2. 専門教科情報科の科目編成や各科目の目標と取り扱いを理解する。 3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。			
ミナムリクワイアメント			
達成目標の (1) ~ (3) とする。			
授業の概要			
共通教科情報科における「情報Ⅱ」と専門教科情報科の教育目標、内容、指導方法について理解し、情報科教員として必要な教材作成、授業設計・実施・評価の理論と実践を、自ら課題解決しながら行う。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、「教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作教材 高等学校学習指導要領解説 情報編 文部科学省 実教出版 2018			
参考書等			
成績評価方法・基準			
毎時間の課題 (4 0 %)、調べ学習ノートおよびコンピュータ実習・模擬授業 (2 0 %)、試験 (4 0 %)。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

14	情報科教育法 B	ETZ-Z-602	必修 ※「情報」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年後期
Education of Information and Communication Technology B			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	学習指導要領 1: 共通教科情報科における「情報Ⅱ」の目標と専門教科情報科の概要	(予習) シラバスで学習内容を確認するとともに、共通教科情報科における「情報Ⅱ」の目標について予習する。 (復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容について復習する。	2
第 2 回	学習指導要領 2: 内容とその取扱い、指導上の留意点 (「コンピュータと情報通信ネットワーク」)	(予習) コンピュータと情報通信ネットワークについて調べる。 (復習) コンピュータと情報通信ネットワークについて、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 3 回	学習指導要領 3: 内容とその取扱い、指導上の留意点 (「問題解決とコンピュータの活用」)	(予習) 問題解決とコンピュータの活用について調べる。 (復習) 問題解決とコンピュータの活用について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 4 回	学習指導要領 4: 内容とその取扱い、指導上の留意点 (「情報の管理と問題解決」)	(予習) 情報の管理と問題解決について調べる。 (復習) 情報の管理と問題解決について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 5 回	学習指導要領 5: 内容とその取扱い、指導上の留意点 (「情報技術の進展と情報モラル」)	(予習) 情報技術の進展と情報モラルについて調べる。 (復習) 情報技術の進展と情報モラルについて、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 6 回	「情報Ⅱ」の学習評価、発展的な学習内容	(予習) 「情報Ⅱ」の学習評価及び発展的な学習内容について調べる。 (復習) 「情報Ⅱ」の学習評価及び発展的な学習内容について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 7 回	専門教科情報科の科目編成と、各科目の目標、内容とその取扱い、指導上の留意点	(予習) 専門教科情報科の科目編成と、各科目の目標等について調べる。 (復習) 専門教科情報科の科目編成と、各科目の目標等について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 8 回	専門教科情報科の学習評価	(予習) 専門教科情報科の学習評価について調べる。 (復習) 専門教科情報科の学習評価について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 9 回	情報通信技術の効果的な活用法、担当科目と分野の選定	(予習) 情報通信技術の効果的な活用法について調べる。 (復習) 情報通信技術の効果的な活用法について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 10 回	専門教科情報科科目の担当分野の教材研究・授業計画	(予習) 担当分野の教材研究・授業計画について調べる。 (復習) 担当分野の教材研究・授業計画について配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 11 回	専門教科情報科科目の担当分野の学習指導案作成	(予習) 担当分野の学習指導案作成にむけて準備する。 (復習) 担当分野の学習指導案作成にむけて準備を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 12 回	専門教科情報科科目の担当分野の学習指導案に基づく模擬授業	(予習) 模擬授業の準備をする。 (復習) 模擬授業の準備を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 13 回	模擬授業の振り返り・相互評価、担当分野の学習指導案修正	(予習) 模擬授業に対する評価や自身の修正点等について検討する。 (復習) 配布資料を確認するとともに、模擬授業についての質問や意見、感想等をまとめる。 (復習) 模擬授業に対する評価や自身の修正点等について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 14 回	専門教科情報科科目の発展的な学習内容、情報教育の課題と展望 情報科教育法 B のまとめ	(予習) 専門教科情報科科目の発展的な学習内容及び情報教育の課題と展望について調べる。 (復習) 専門教科情報科科目の発展的な学習内容及び情報教育の課題と展望について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2

15	商業科教育法 A	MCZ-Z-501	必修 ※「商業」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年前期
Business Education Teaching Method A			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○ 単独 (1 人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数 (1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	○ 教職科目 (商業)		
クラス分け (クラス分けて担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
MC 3 年全組 長谷川 律男			
授業の達成目標			
1. 学習指導要領「商業」の目標や内容を理解する。 2. 商業教育にかかわる教育理念・教育方法の知識や指導法を理解する。 3. 実際の教育の場において適応できるよう、授業への実践的態度の育成を図る。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムリクワイアメントは、達成目標の 1. から 3. について、おおむね理解しているものとする。具体には、現行の高等学校学習指導要領の内容や目標、商業教育の理解と目標及び指導法、教育者を目指す意識の高揚について、自らその見解をグループワーク等で主張することから判断するものとする。			
授業の概要			
高等学校学習指導要領に基づく商業教育のねらいと指導内容について学習し、産業経済の社会的背景と商業教育との歴史的なかわりを学ぶ。また、商業教育の役割、指導内容、指導方法、教育課程等を講義の核とし、実践的態度の育成を目指す講義内容とする。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、「教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作教材			
参考書等			
高等学校学習指導要領解説 商業編 文部科学省 実教出版 2018 商業科教育論 21 世紀の商業教育を創造する 日本商業教育学会編 実教出版 2019			
成績評価方法・基準			
レポート提出、課題等によるグループワーク及び発表等により評価する。 レポート 2 回 (60%)、グループワーク及び発表 (40%)			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

15	商業科教育法 A	MCZ-Z-501	必修 ※「商業」の免許状取得希望者は必修 2 単位 3 年前期
Business Education Teaching Method A			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (上段予習・下段復習)	目安時間(時)
第 1 回	学習内容についてのガイダンス	(予習) シラバスで学習内容を確認してくる。	2
第 2 回	高等学校商業教育の基本理念	(復習) 配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。 (予習) 高等学校商業教育の基本理念について調べる。	2
第 3 回	高等学校における商業教育の役割	(復習) 高等学校商業教育の基本理念について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 4 回	商業教育の歩み	(予習) 高等学校における商業教育の役割について調べる。	2
第 5 回	商業教育の教育課程	(復習) 商業教育の歩みについて、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 6 回	学習指導要領 (教科「商業」の改訂の経緯と趣旨、目標)	(予習) 商業教育の教育課程について調べる。	2
第 7 回	「基礎的科目群」の内容と指導上の留意点	(復習) 学習指導要領改訂の経緯と趣旨、目標について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 8 回	「マーケティング科目群」の内容と指導上の留意点	(予習) 「基礎的科目群」の内容と指導上の留意点について調べる。	2
第 9 回	「マネジメント科目群」の内容と指導上の留意点	(復習) 「マーケティング科目群」の内容と指導上の留意点について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 10 回	「会計科目群」の内容と指導上の留意点	(予習) 「マネジメント科目群」の内容と指導上の留意点について調べる。	2
第 11 回	「ビジネス情報科目群」の内容と指導上の留意点	(復習) 「会計科目群」の内容と指導上の留意点について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 12 回	「総合的科目群」の内容と指導上の留意点	(予習) 「ビジネス情報科目群」の内容と指導上の留意点について調べる。	2
第 13 回	各科目の発展的な学習内容	(復習) 「総合的科目群」の内容と指導上の留意点について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第 14 回	商業教育の課題と展望	(予習) 各科目の発展的な学習内容について調べる。	2
		(復習) 商業教育の課題と展望について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2

16	商業科教育法 B	MCZ-Z-601	必修 ※「商業」の免許状取得希望者は必修 2単位 3年後期
Business Education Teaching Method B			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
○単独(1人が全回担当)		教職科目 (工業)	
複数(1回の授業を2人以上が一緒に担当)		教職科目 (情報)	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		○教職科目 (商業)	
クラス分け(クラス分けて担当する)		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
MC3年全組 長谷川 律男			
授業の達成目標			
1. 商業教育にかかわる教育理念・教育方法の知識や指導法を理解する。 2. 実際の教育の場において適応できるよう、授業への実践的態度の育成を図る。 3. 具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につける。			
ミニマムリクワイアメント			
本科目におけるミニマムリクワイアメントは、達成目標の1. から3. について、おおむね理解しているものとする。具体には、現行の高等学校学習指導要領の内容や目標、商業教育の理解と目標及び指導法、教育者を目指す意識の高揚について、自らその見解をグループワーク等で主張することから判断するものとする			
授業の概要			
商業教育の教材研究・授業設計、評価、商業教育の現状等について学ぶ。また、学習指導案の作成、模擬授業の実施（情報機器の活用も含む）を通して、商業科教員に必要なとされる知識・技術の習得を目指した講義内容とする。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、「教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」について指導する。			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作教材			
参考書等			
高等学校学習指導要領解説 商業編 文部科学省 実教出版 2018 商業科教育論 21世紀の商業教育を創造する 日本商業教育学会 実教出版 2019			
成績評価方法・基準			
レポート提出、課題等によるグループワーク及び発表等により評価する。 レポート2回（60％）、グループワーク及び発表（40％）			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
次回授業時に全体に対しフィードバックを行う。			
備考			

16	商業科教育法 B	MCZ-Z-601	必修 ※「商業」の免許状取得希望者は必修 2単位 3年後期
Business Education Teaching Method B			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第1回	商業科教育法Aの確認と商業科教育法Bの授業の進め方	（予習）シラバスで学習内容を確認する。また、商業科教育法Aについてもあらためて確認する。 （復習）配布資料を確認する。	2
第2回	商業科の教材研究（生徒の状況、教材の位置づけ）	（予習）商業科の教材研究について調べる。 （復習）商業科の教材研究について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第3回	商業科の授業設計（教材の活用法、指導上の留意点）	（予習）商業科の授業設計について調べる。 （復習）商業科の授業設計について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第4回	商業科の学習評価	（予習）商業科の学習評価について調べる。 （復習）商業科の学習評価について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第5回	学習指導案1（学習指導案の構成）	（予習）学習指導案の構成について調べる。 （復習）学習指導案の構成について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第6回	担当項目の教材研究・授業設計	（予習）担当項目を検討し、調べる。 （復習）担当項目について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第7回	学習指導案2（学習指導案の作成、教材観・生徒観・指導観に留意）	（予習）学習指導案の作成の準備をする。 （復習）学習指導案の作成について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第8回	情報通信技術を活用した教材研究・授業設計	（予習）情報通信技術を活用した教材研究・授業設計について調べる。 （復習）情報通信技術を活用した教材研究・授業設計について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第9回	学習指導案3（情報通信技術を活用した学習指導案の作成）	（予習）情報通信技術を活用した学習指導案の作成の準備をする。 （復習）情報通信技術を活用した学習指導案の作成について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第10回	模擬授業1（学習指導案に基づく模擬授業）	（予習）模擬授業の準備をする。 （復習）模擬授業について、配布資料を確認するとともに質問や意見、感想等をまとめる。	2
第11回	模擬授業2（学習指導案に基づく模擬授業、教育機器（P.C.）の活用）	（予習）教育機器を活用した模擬授業の準備をする。 （復習）教育機器を活用した模擬授業について、配布資料を確認するとともに質問や意見、感想等をまとめる。	2
第12回	模擬授業の振り返り、相互評価、学習指導案の修正	（予習）模擬授業に対する評価や自身の修正点等について検討する。 （復習）模擬授業に対する評価や自身の修正点等について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第13回	商業教育の実践例に学ぶ	（予習）商業教育の実践例について調べる。 （復習）商業教育の実践例について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2
第14回	商業教育の課題と展望	（予習）商業教育の課題と展望について調べる。 （復習）商業教育の課題と展望について、配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる。	2

17	教育実習事前・事後指導	FZ-Z-702	必修 1単位 4 年前期
Practical Methodologies			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
☐ 単独(1 人が全回担当)	☐ 複数(1 回の授業を 2 人以上と一緒に担当)	☐ 教職科目 (工業)	
☐ オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)	☐ クラス分け(クラス分けて担当する)	☐ 教職科目 (情報)	
		☐ 教職科目 (商業)	
		地域志向科目	
		☐ 実務経験のある教員担当	
		☐ アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 4 年全組 加藤 順一			
授業の達成目標			
事前指導では、教育実習に臨む上で必要となる事柄の理解（教育実習の目的と内容等）、実習生にふさわしい心構えと態度の育成、学習指導と生活指導に関する指導技術の基礎的能力の向上を目指す。事後指導では、教育実習での経験を振り返り、成果と課題を確認する。			
ミニマムリクワイアメント			
教育実習に臨むうえで必要な事柄を理解し、学習指導と生活指導に関する指導技術の基本を身につけている。教育実習を振り返り、成果と課題を認識することができる。			
授業の概要			
3 年前期から 4 年前・後期にかけて実施する。3 年次後期には教育実習の意義と目的の理解と授業実践に向けた指導案の作成と模擬授業を行う。また、学校現場での一日体験実習では、授業観察や授業実践、現職教員の講話を通して、教育実習に向けた意識と技術の向上を目指す。4 年次には、教育実習直前の指導と直後の振り返りのための指導を行う。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、模擬授業の指導を行う。（加藤順一）			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
『教育実習完璧ガイド』は大学で貸与する。 教育実習完璧ガイド 宮崎猛・小泉博明 小学館 2015			
参考書等			
教育実習で担当する教科の教科書 高等学校 学習指導要領 文部科学省 2018			
成績評価方法・基準			
体験学習、模擬授業の内容、実践結果及び諸レポートを総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
模擬授業後に個別にフィードバックを行う。			
備考			

17	教育実習事前・事後指導	FZ-Z-702	必修 1単位 4 年前期
Practical Methodologies			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第 1 回	教育実習の意義と目的	シラバスを読んでくる。 配付資料等を確認する。	0.5 0.5
第 2 回	高等学校の現状と授業観察、実習日誌の書き方	『教育実習完璧ガイド』の「教育実習が始まる前に」「実習中の心得」「実習日誌はこう書こう」を読んでくる。 配付資料やデキストを確認する。	0.5 0.5
第 3 回	高等学校での一日体験実習（学校の現状と課題についての講話）	一日実習の手引きを読んでくる。 講話で学んだ事について実習日誌にまとめる。	0.5 0.5
第 4 回	高等学校での一日体験実習（SHR 授業観察）	一日実習の手引きを読んでくる。 授業観察で学んだ事について実習日誌にまとめる。	0.5 0.5
第 5 回	高等学校での一日体験実習（教科授業観察）	一日実習の手引きを読んでくる。 授業観察で学んだ事について実習日誌にまとめる。	0.5 0.5
第 6 回	高等学校での一日体験実習（授業実践）	授業実践に向けた指導案の作成と模擬授業をグループごとに行う。 授業実践で学んだ事について実習日誌にまとめる。	0.5 0.5
第 7 回	高等学校での一日体験実習（振り返り）	一日実習で学んだ事をまとめておく。 一日実習で学んだ事について実習日誌にまとめる。	0.5 0.5
第 8 回	指導案の作成と模擬授業（導入の工夫）	導入に注目した指導案の作成を行う。 模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	0.5 0.5
第 9 回	指導案の作成と模擬授業（板書の工夫）	板書に注目した指導案の作成を行う。 模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	0.5 0.5
第 10 回	指導案の作成と模擬授業（展開と発問の工夫）	展開と発問に注目した指導案の作成を行う。 模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	0.5 0.5
第 11 回	指導案の作成と模擬授業（まとめの工夫）	まとめに注目した指導案の作成を行う。 模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	0.5 0.5
第 12 回	指導案の作成と模擬授業（評価の工夫）	評価に注目した指導案の作成を行う。 模擬授業で指摘された点を指導案に反映させる。	0.5 0.5
第 13 回	教育実習を行う上での留意点	『教育実習完璧ガイド』を全て読んでくる。 配付資料等を確認する。	0.5 0.5
第 14 回	教育実習の振り返り	教育実習の振り返りを行う。 レポートを作成する。	0.5 0.5

18	教職実践演習（高）	FZ-Z-801	必修 2単位 4 年後期
Practical Seminar for Teaching Profession			
授業形態		該当科目	SDGs の取り組み
☐ 単独(1 人が全回担当)	☐ 複数(1 回の授業を 2 人以上が一緒に担当)	☐ 教職科目（工業） ☐ 教職科目（情報） ☐ 教職科目（商業）	
オムニバス(各回の担当教員が異なる場合)		☐ 地域志向科目	
クラス分け(クラス分けて担当する)		実務経験のある教員担当	
		☐ アクティブラーニング	
		メディア授業	
クラス・担当教員			
全学科 4 年全組 小川 和久 片山 文雄 加藤 順一			
授業の達成目標			
学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、教育現場において必要とされる実践的能力となっていることを確認し定着させる。以下の諸点に十分に留意する。 1. 自らの専門的課題を自覚した上で、教科に関する知識と技能を充実させる。 2. 教職に関する知識と指導技術を向上させる。 3. 社会性や人間性を豊かにし、使命感と教育愛・教育的情熱をもって教育に取り組もうとする態度を身に着ける。			
ミニマムリクワイアメント			
身に付けた資質能力が実践的能力になっているかを自己評価でき、さらなる課題を理解することができる。			
授業の概要			
教科及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認する。「教職のための学習ポートフォリオ」に基づいた学修の振り返りによって、4つの事項（①使命感等②社会性等 ③生徒理解等④教科指導力等に関する事項）に関して、個別の課題を明確にし、その克服を目指す。その方法として、講義の他にグループ討論や模擬授業、学校現場の見学・調査などを行う。実施に当たっては、高校や教育委員会との連携を密にするとともに、専門教科担当者を含めた指導体制の下で指導し、評価を行う。			
実務経験を活かした教育について			
高等学校での教員経験や宮城県総合教育センターおよび教育委員会での勤務経験のある教員が、教育現場において必要とされる実践的能力の指導を行う。（加藤順一）			
メディア授業の実施形態			
教科書等			
自作資料を使用する。			
参考書等			
成績評価方法・基準			
グループ討論・発表内容・レポート等により総合的に評価する。			
課題や試験等に対するフィードバック方法			
各課題については、授業中にフィードバックする。			
備考			

18	教職実践演習（高）	FZ-Z-801	必修 2単位 4 年後期
Practical Seminar for Teaching Profession			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（上段予習・下段復習）	目安時間(時)
第 1 回	「教職実践演習」の意義と目的教職に関する科目の補完ポイントの確認（グループ討論）	シラバスで学習内容を確認し、本講義の意義と目的について予習しておく。	2
第 2 回	教員という仕事について（グループ討論）	「教職のための学習ポートフォリオ」を用いて教職課程を振り返り、各自の補完ポイントを確認する。	2
第 3 回	教科指導の在り方について（グループ討論）	教員という仕事について、これまでの教職課程で学んだ事を総括しておく。	2
第 4 回	指導案の作成と模擬授業	配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をレポートにまとめる。	2
第 5 回	学校現場の見学・調査に向けた準備	教科指導について、これまでの教職課程で学んだ事を総括しておく。	2
第 6 回	学校現場の見学・調査（指導計画の作成）	配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をレポートにまとめる。	2
第 7 回	学校現場の見学・調査（現職教員講話）	見学する学校現場の特徴について調べる。	2
第 8 回	学校現場の見学・調査（授業参観）	配布資料を確認する。	2
第 9 回	学校現場の見学・調査（授業実践）	見学する学校現場の特徴について調べる。	2
第 10 回	学校現場の見学・調査（振り返り）	配布資料を確認する。	2
第 11 回	教育の現代的課題①危機管理・心のケアに関する事例研究	配布資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をレポートにまとめる。	2
第 12 回	教育の現代的課題②安全・防災教育に関する事例研究	危機管理の在り方について、これまで教職課程で学んだ事を総括して振り返る。	2
第 13 回	教育の現代的課題③問題行動の解決に関する事例研究	安全・防災教育の在り方について、これまで教職課程で学んだ事を総括して振り返る。	2
第 14 回	教科に関する科目の補完ポイントの確認（学科教員との面談）	配布資料を確認する。	2
		教科に関する科目の成績や「教職のための学習ポートフォリオ」を用いて教職課程を振り返り、各自の補完ポイントを確認する。	2
		面談での指摘された改善点を中心に教科に関する科目について復習する。	2